

移動型ロボット事業の現況



道具として役立つ移動ロボットで人々を笑顔に



若手とベテランの連携、ベンチャーと大手メーカーの気質を兼ねる



代表取締役：大島
(移動ロボット)

執行責任者：城吉
(移動ロボット+自動車)

営業責任者：内山
(数理工学+流体工学)

特長

- ロボットの街[つくば市]で2012年に創業
- 筑波大学大学院の卒業者
- 日立製作所の研究所出身
- メーカー出身の技術者や営業担当
- ロボット研究, 情報事業, 日米間技術コンサルタントら有識者による3名の顧問体制
- 筑波大学生を中心とした開発製造補助

～ 社名に込められた想い～

【道具】 道具として役立つものを真摯に考える

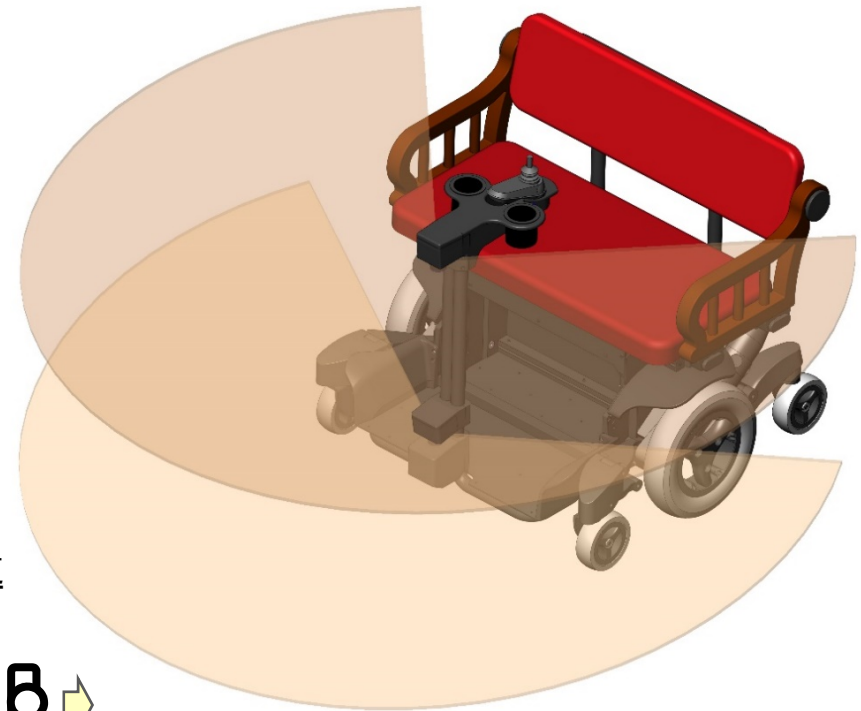
【Good】 高い技術水準の追求により優れた性能を実現する

【Dog】 人の意思を尊重して従順に働く機器を開発する

楽しさと安全性の追求から生まれた全く新しい乗り物

二人乗りで様々な状況の方が楽しめる！
コンパクトで小回りが利き、乗り回し易い！
ジョイスティックで簡単に操縦できる！

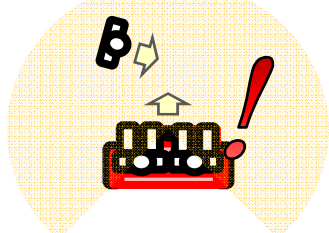
※ 停止スイッチ、ドリンクホルダー、横からの乗降、カバン収納など



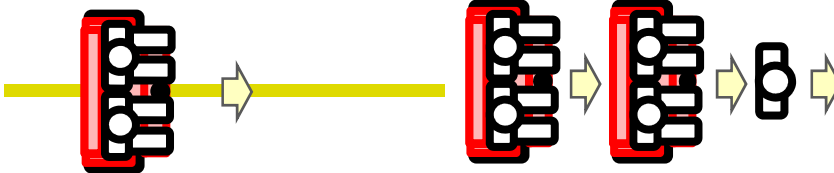
高い安全性を実現する広視野レーザセンサによる

ロボット機能

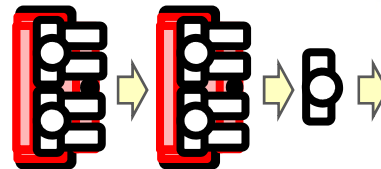
● 操縦支援



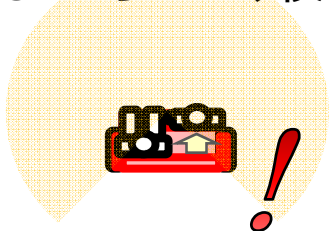
● ルート回遊



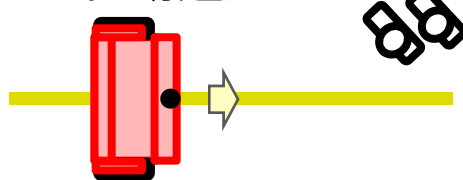
● ツアー誘導



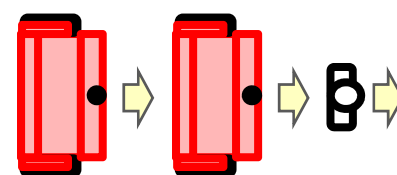
● 立ち上がり検知



● 自動送迎



● 配車/メンテナンス



基本機能が完成
コンテンツの充実や、
サービス基盤の構築により
展開を進める

あらゆる状況の人々が行楽を満喫するため

誰もが心から願う、しあわせな時間を提供するには、安全で、誰にでも使いやすく親しみやすい、効率的な運用ができる新しい乗り物が必要でした。



- ・ ガイド付きのツアー運用
- ・ ルート回遊によるライドアトラクション
- ・ 施設内移動システム



空港・ショッピングモールやさらには、都市内・ビル内など公共空間での活用に拡大

屋内外で使える耐環境性と高い安全性と力強さ

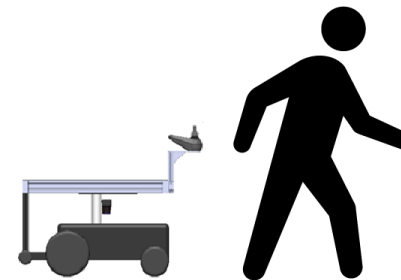


リードによる新しい操作性

用途に応じた荷台拡張性

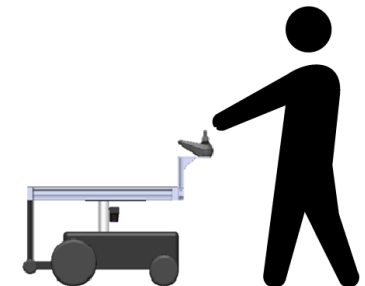
広視野レーザセンサによる
ロボット機能

自動追従



障害物は回避, 連結可

操縦支援



人による細かい操作

最大7.5km/hの高速移動

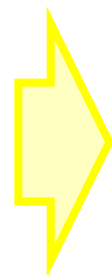
ソフトウェア改良とセンサ追加により続々と機能追加中

工場や倉庫を中心に展開し、汎用性を活かして現場拡大



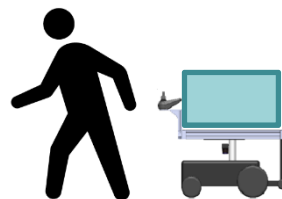
工場・倉庫では下記を
ポイントに導入が進む。

- ・ 作業性の向上
- ・ 省力化による作業力増
- ・ 職場環境の改善
- ・ 雇用活動の負担低下



荷台に新たな価値を追加することで公共空間での
新サービスへ適用現場を拡大

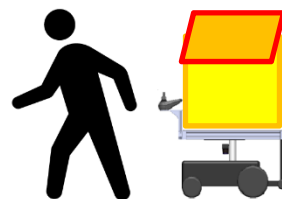
飲料の移動販売カート



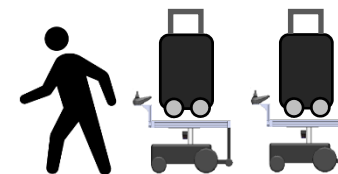
店舗内の買い物荷物運び



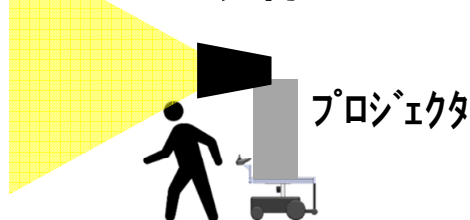
調理品の移動販売カート



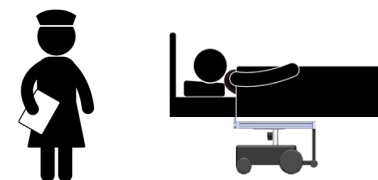
ホテル・空港でカバン運び



イベント映像マッピング



院内搬送カート



社会の受容性と環境依存の課題を段階的に乗り越える

行楽地・工場

- ・ 低速度域
- ・ 事業者が管理



空港・ショッピングモール

- ・ 速度域の向上
- ・ 運用の信頼性



都市内・巨大ビル

- ・ 速度域がさらに向上
- ・ 運用の低コスト化

サウザー

- 工場や倉庫を中心に、導入事例と稼働実績を積み上げる
- 飲食業における導入の動き, イベント事業者と共に新ジャンルへ

モビリス

- 2016年度は2箇所のレストラン施設において導入試験予定
- 特に空港の導入試験では改革2020プロジェクトとの連携に期待。今後運用方法を検討し、適用現場を拡大

日本の技術 × 文化による対外アピールイベントにも対応 ⇒





道具として役立つ移動ロボットで人々を笑顔に